

協会2017年新年会開催！

2月1日松江エクセルホテル東急で2017年島根県情報産業協会新年会を開催しました。今回の新年会には、会員のほか、国・県・市など関係者の皆さん70余名が参加しました。

冒頭挨拶で、吉岡宏協会会長は、県内IT業界の技術者不足に触れるとともに、魅力ある業界づくりに注力することを力強く訴えました。また、Ruby City Matsue を掲げ、中学校全校でのプログラミング教育を開始した松江市の取組に期待を寄せ、松浦松江市政支援の決意を述べました。



新年会第1部の講演会では、松浦正敬松江市長に「選ばれるまち・松江の実現へ」と題して、講演を頂きました。松浦市長は、50年度の人口が13万人に予想される中、市政総合戦略で、これを18万人になんとかとどめるため、年間270名の社会増の目標を掲げたこと、この実現方策として、若者の定着のため。生活環境の改善と雇用の確保が鍵だと述べられました。なかでも、雇用確保で、制度的には、東京一極集中から地方分散へ、産業論として地産地消による地域内循環の確立をあげ、生産重視の農林水産業から、消費者を見据えた農林水産業振興を強調されました。この計画実現に向け、最初の4年間が大切であることから、全力を挙げて取り組むとの強い思いを披歴されました。

第2部交流会は、石碕修二副会長の開宴の挨拶の後、来賓の方々を代表して、堀内和弘総務省中国総合通信局情報通信課長、大原晃洋経済産業省中国経済産業局地域経済部長、美濃亨島根県商工労働部情報産業振興室長の各氏にご挨拶を頂きました。





山崎征爾公益財団法人しまね産業振興財団代表理事理事長の乾杯のご発声により交流会は開宴しました。交流会では、協会入会を申し込んでいる(株)セントラル情報センターから堀口義博島根営業所副所長に挨拶を頂きました。

交流会では、出雲市を中心に、松江市、雲南市の社会人でつくられたアマチュアジャズバンド「バードジャズオーケストラ」に生演奏を今回お願いしました。アンコールを含め、合計八曲のスウィング感溢れる演奏で、交流会を盛り上げて頂きました。

これまでとは一味違う趣向もあり、あっという間に時間は過ぎ、井上浩副会長の挨拶で交流会は閉宴となりました。



[BJO 演奏「茶色の小瓶 \(MP3\)」はこちら](#) をクリックしてください。